

スズキ、アーメダバード経営協会と 日本式経営教育プログラムを開始



スズキ株式会社（以下スズキ）は、インドのグジャラート州において、Ahmedabad Management Association（アーメダバード経営協会、以下 AMA）とインドで日本式経営について学ぶ機会を提供するプログラム「SUZUKI-AMA CENTRE FOR JAPANESE MANAGEMENT」の開始について、AMA のサヴァン・ゴディアワラ会長とスズキの鈴木俊宏社長が覚書を締結しました。

この覚書締結式は、グジャラート州で行われたイベントで、グジャラート州のブペンドラ・パテル首相と静岡県 of 鈴木康友知事、アーメダバード市のプラティバベン・ラケシュクマール・ジャイン市長、浜松市の中野祐介市長がご出席のもと行われました。

AMA は、公的機関や企業と協力して多様な経営分野における教育を提供する非政府組織です。スズキは、これまでインド国内において製造現場向けに職業訓練などを行ってきましたが、今回、AMA と協力して「SUZUKI-AMA CENTRE FOR JAPANESE MANAGEMENT」を通じて日本式経営やスズキの経営方針、労働文化などについての研修を行います。

スズキは、事業活動を行う地域での人財育成を通じて、インド政府の掲げる「Make in India」「Skill India」に貢献してまいります。

以上